

# 錦絵を摺ってみよう！

## 錦絵ってなに？

浮世絵のひとつ。浮世絵は江戸時代に流行した絵で、人気の役者や風景が描かれたよ。

浮世絵を描くのは浮世絵師で、紙などに浮世絵師が直接描いたものが肉筆画、描いたものをもとに木版画の形で作ったものが錦絵。



## 錦絵ができるまで

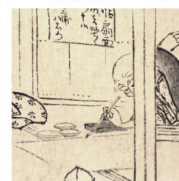
3つの役割にわかれて作る

浮世絵師 絵をかく職人

彫師 版木（版画を作るための木の板）を小刀で絵のとおり彫っていく職人

摺師 版木に色をつけて上から紙をのせ、紙がずれないように手で押さえながら上から手やバレンなどでこすり、紙に色をうつしていく職人

絵をかく



『北斎仮宅之図』

版木を彫る



『的中地本問屋』2巻

色を摺る

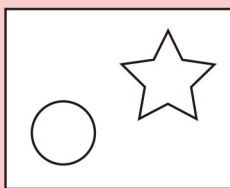


『的中地本問屋』2巻

※いずれも（部分図）（国立国会図書館蔵）

### 下書き

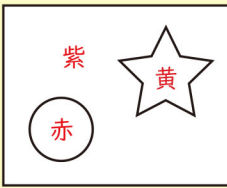
下書きをかく。  
色はつけないよ。



下書きをかけた紙

### 輪郭線用の版木

下書きを版木に貼り、輪郭線だけの版木を彫るよ。紙に摺り、何色にするか決めて、赤字で書くよ。

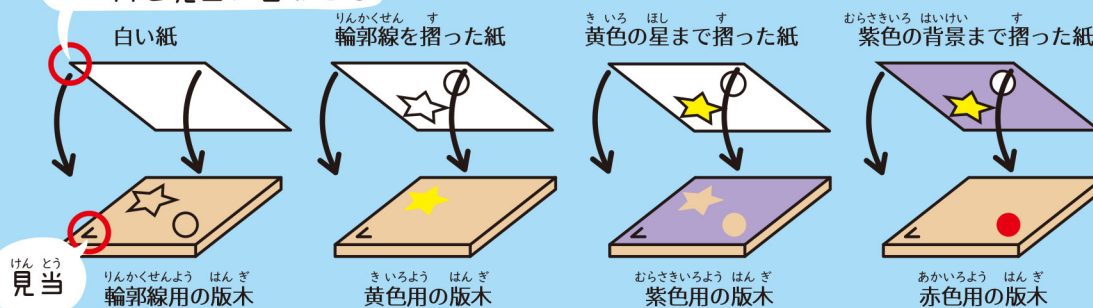


輪郭線だけ摺られた紙

### 摺る

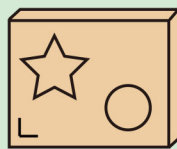
色をつけた版木に紙をのせ、紙の上からこするよ。色がずれないように、版木に見当という印をつけ、紙の角を合わせるよ。

この角を見当に合わせる

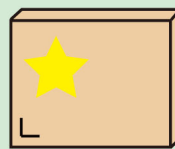


### 色用の版木

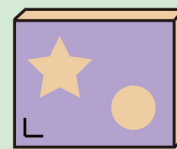
必要な色の数分、版木を彫るよ。



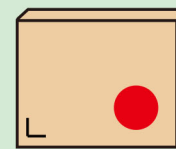
輪郭線用の版木



黄色用の版木

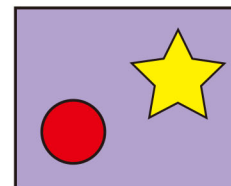


紫色用の版木



赤色の版木

完成



# 作り方

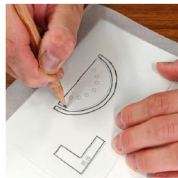
材料：消しゴム（消しゴムはんこ用がおすすめ。必要な色の数分準備）トレーシングペーパー、紙  
 道具：鉛筆、彫刻刀、絵の具  
 ※使う道具は現代風にアレンジしています。



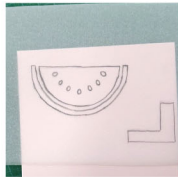
オリジナル  
デザインで  
作ってみよう。

## ① 絵をかく (例：スイカ)

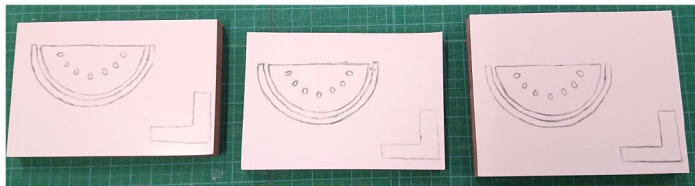
見当もわずれずに入れよう!



絵の上にトレーシングペーパーを置いて、鉛筆でなぞる。

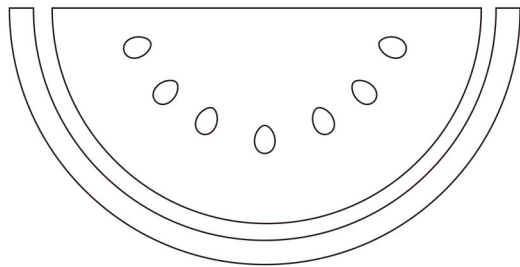


消しゴムの上にトレーシングペーパーを裏返して置き、爪などでこすって絵をうつす。



今回は種の黒、果肉の赤、皮の緑の3色必要なので3枚作るよ。

(例 スイカ)



見当

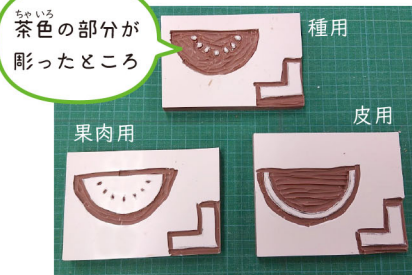
例で使ったスイカの実物大イラスト。このまま下絵として使えます。おうちでも作ってみてね。

## ② 消しゴムを彫る

種用の消しゴムは種以外を彫るといように、色をつけるところを残すよ。



彫刻刀を使う時は手を切らないように注意！  
大人と一緒に使おう。



茶色の部分が彫ったところ



見当のまわりも彫ろう。

## ③ 摺る

絵の具で色をつけ、紙の角を見当に合わせてのせ、摺る。



皮の部分に緑の絵の具をつける。



赤い絵の具で果肉



黒い絵の具で種



上に紙（今回はハガキを使用）をのせる。

ポイント

見当の角と紙の角を合わせる。



紙がずれないように押さえながら、こする。



皮の部分が摺れた!



## 作品募集

完成した作品やその画像を博物館までお送りください。館内で掲示をいたします。  
 お送りいただいたものはお返しできませんのでご了承ください。

募集期間：2020年8月31日まで

掲示期間：2020年9月30日まで

応募方法：持参、郵送またはメールに画像を添付してお送りください。  
 (送料は送付者様負担をお願いします。)

その他：お名前は原則非公開としますが、お名前(ペンネームも含む)の公開を希望される場合はその旨ご連絡ください。

【送付先・問合せ先】

山梨県立博物館 企画交流課  
 〒406-0801 笛吹市御坂町成田 1501-1  
 電話 055-261-2631  
 FAX 055-261-2632  
 メール kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp

